

中間とりまとめ
～安全・安心まちづくりビジョン～（素案）
参考資料

第1章	はじめに	P 1-1
第2章	都市の安全・安心をめぐる状況と課題	P 2-1
第3章	政策展開の方向性	P 3-1

社会資本整備審議会 都市計画・歴史的風土分科会 都市計画部会
安全・安心まちづくり小委員会

第1章 はじめに

安全・安心まちづくり小委員会における検討課題・開催状況

小委員会における検討課題

平成17年6月30日、国土交通大臣より社会資本整備審議会に対し「新しい時代の都市計画はいかにあるべきか。」について諮問。具体的な検討課題は以下の5項目。

- ① 人口減少等に対応した新たな都市計画制度の基本的枠組み
- ② 中心市街地の再生を図るための、広域的な都市機能の規制誘導施策及び中心市街地への都市機能の集積誘導施策
- ③ 持続可能な都市を構築するための都市・生活インフラの整備の推進方策
- ④ 安全で安心して暮らせるまちづくりの推進方策
- ⑤ 歴史的な風土を活用したまちづくり、地域づくりのあり方

本小委員会において、④の「安全で安心して暮らせるまちづくりの推進方策」について検討。

検討経緯

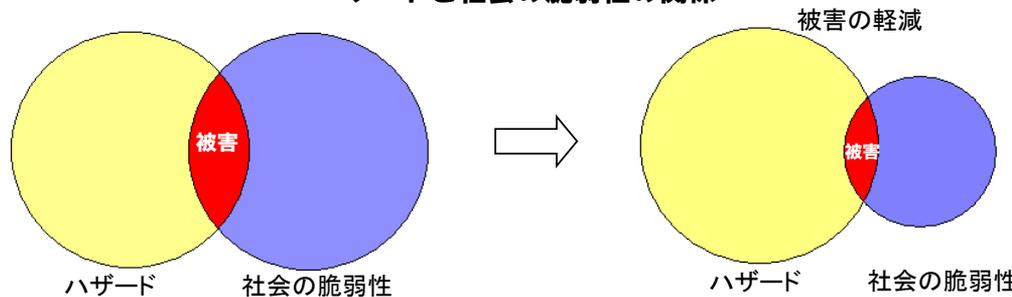
平成20年9月25日 第1回小委員会を開催。以降、○回の委員会を開催。

中間とりまとめ ～安全・安心まちづくりビジョン～ の位置付け

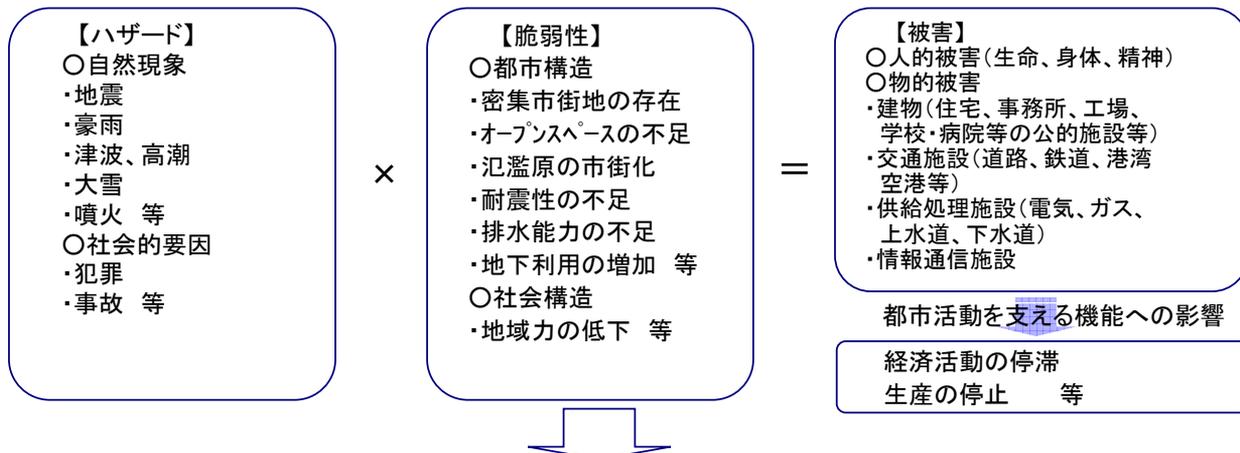
中間とりまとめは、自然災害のリスクの高まりや人口の減少等を前提とし、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けた具体的な推進方策の検討にあたっての方向性を示す「安全・安心まちづくりビジョン」としてとりまとめたものである。

中間とりまとめを踏まえ、「安全で安心して暮らせるまちづくり推進方策」について、引き続き小委員会で検討を進め最終的なとりまとめを行う予定である。

ハザードと社会の脆弱性の関係



出典) 「平成17年版防災白書」内閣府



都市の持つ脆弱性を減少させることが必要